

医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。

使用上の注意改訂のお知らせ


2014年1月

処方せん医薬品：注意－医師等の処方せんにより使用すること


心臓選択性β遮断剤

アテノロールドライシロップ10%「EMEC」


<アテノロールドライシロップ>

製造販売元 

サンノーバ株式会社
群馬県太田市世良田町3038-2

販売元 

エルメッド エーザイ株式会社
東京都豊島区東池袋3-23-5

販売提携 

エーザイ株式会社
東京都文京区小石川4-6-10

このたび、標記製品の「使用上の注意」を以下のとおり改訂いたしましたので、お知らせ申し上げます。

なお、改訂内容につきましてはDSU（医薬品安全対策情報）No.226に掲載の予定です。

今後の弊社製品のご使用に際しましては、本書を適正使用情報としてご活用いただきますようお願い申し上げます。禁忌を含む使用上の注意等については、弊社ホームページ（<http://www.emec.co.jp>）及び医薬品医療機器情報提供ホームページ（<http://www.info.pmda.go.jp>）に掲載されている最新の添付文書をご確認ください。

なお、製品に関するお問合せにつきましては、弊社医薬情報担当者または商品情報センター（フリーダイヤル：0120-223-698、平日9:00～17:00）までご連絡ください。

[改訂箇所及び改訂理由（項目別）]

1. 相互作用

<改訂部分抜粋>

下線部分を改訂いたしました（_____部分を追加、_____部分を削除）。

改訂後			改訂前		
3.相互作用 併用注意（併用に注意すること）			3.相互作用 併用注意（併用に注意すること）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
交感神経系に対し抑制的に作用する他の薬剤 <u>レセルピン</u> 、 <u>β遮断剤（チモロール等の点眼剤を含む）</u> 等	交感神経系の過剰の抑制（徐脈、心不全等）をきたすことがあるので、減量するなど慎重に投与すること。	相互に作用（交感神経抑制作用）を増強させる。	交感神経系に対し抑制的に作用する他の薬剤 <u>レセルピン</u> 等	交感神経系の過剰の抑制（徐脈、心不全等）をきたすことがあるので、減量するなど慎重に投与すること。	相互に作用（交感神経抑制作用）を増強させる。
略（変更なし）			略		
<u>クラスⅠ抗不整脈剤</u> ジソピラミド、プロカイナムド、アジマリン等 <u>クラスⅢ抗不整脈剤</u> アミオダロン等	過度の心機能抑制（徐脈、心不全等）があらわれ、心停止／洞停止に至る可能性があるため、減量するなど慎重に投与すること。	抗不整脈剤は陰性変力作用及び陰性変時作用を有する。β遮断剤もカテコールアミンの作用を遮断することにより心機能を抑制するため、併用により心機能が過度に抑制される。	<u>クラスⅠ抗不整脈剤</u> ジソピラミド、プロカイナムド、アジマリン等	過度の心機能抑制（徐脈、心不全等）があらわれ、心停止／洞停止に至る可能性があるため、減量するなど慎重に投与すること。	<u>クラスⅠ抗不整脈剤</u> は陰性変力作用及び陰性変時作用を有する。β遮断剤もカテコールアミンの作用を遮断することにより心機能を抑制するため、併用により心機能が過度に抑制される。
麻酔剤 <u>セボフルラン</u> 等	略（変更なし）		麻酔剤 <u>エーテル</u> 等	略	
略（変更なし）			略		
<u>フィンゴリモド</u>	<u>フィンゴリモドの投与開始時に本剤を併用すると重度の徐脈や心ブロックが認められることがある。</u>	<u>共に徐脈や心ブロックを引き起こすおそれがある。</u>			

改訂理由

自主改訂に基づき、「相互作用」の項を改訂いたしました。

CODE DAT (O) 004
2014年1月作成